

貴方方の心音（こころね）に、思わず感涙

指揮をとられた先生の思い入れは、聴衆の心に沁みいる演奏となる。楽器に込められた心音は「耳」という「魂への門」から入り、心の中から何かを引き出して、身も心も躍動させる。奏でられるひとつひとつの心音に励まされ、心を結ばれる。励ますことに、もうこれで良いというゴールはない。自分が成長した分、相手に必ず伝わる。自分自身を磨きあげ、相手の足元を照らして励ましてごらん。最高の幸せが、相手と自分を包み込んでいますよ。素敵な演奏に、感極まって涙！親を大切に、ますます励んでください。今日は、ありがと。

